

山梨県文化協会連合会

第48回 令和8年度「山梨県短歌大会」公募要項

選者 大下一真先生

1. 目的

県民の誰もが気軽に参加し、短歌の創作活動の活性化と、県内の短歌愛好者の交流と親睦を図り、本県の短歌文学の振興に努めることを目的とする。

2. 応募規定

①一人3首（未発表作品に限る。）

②参加料（作品集代等含む） 2,000円

※下記口座に振り込み、振込票もしくはその写しを、提出原稿の裏面左側（表に氏名の書いてある側）に貼って提出してください。グループでまとめて振り込んだ場合、メンバーの名前が分かるよう、添付した振込票の横に書き添えてください。

山梨中央銀行 県庁支店
普通 655989
口座名義 山梨県文化協会連合会短歌大会

③提出先

居住する市町村の文化協会事務局（又は市町村教育委員会事務局）へ提出してください。なお、山梨県文化協会連合会事務局でも受け付けます。

④投稿はB4判400字詰め原稿用紙を用いてください。

住所・氏名（ペンネームの場合も本名を必ず明記する）・フリガナ・年齢・職業・電話番号・投稿作品3首を明記。（右側）

左側には同一の作品のみを明記する。【裏面に記載例あり】

⑤作品はボールペンを使用し、楷書で明確に書くこと。（ワープロ、パソコンでもよい。）

⑥作品は大会終了後まで他に投稿してはならない。

⑦投稿者は山梨県在住者または在籍者であること。

⑧応募作品の訂正ならびに差し替え・返却はしない。

⑨自由投稿の方は、「山梨県文化協会連合会事務局」へご連絡ください。

3. 受付期間 令和8年7月1日(水)～8月31日(月)

4. 選者・講演 大下一真先生 「甲州の歌人 山崎方代」

5. 表彰

大会会長賞・知事賞・県議会議長賞・山梨日日新聞社賞・NHK甲府放送局長賞・山梨放送賞・テレビ山梨社長賞 各1名
「入選」15名

6. 選者経歴（講演）

大下一真（おおした いっしん）

昭和23年、静岡県生まれ。昭和39年「まひる野」入会、現在編集発行人。生前の山崎方代と親しみ、方代没後の昭和62年より「山崎方代を語り継ぐ会」の機関誌「方代研究」を編集。現代歌人協会会員。日本文藝家協会会員。鎌倉歌壇会長。歌集に『存在』『掃葉』『足下』（第32回日本歌人クラブ賞受賞）『即今』（第14回寺山修司短歌賞受賞）『月食』（第16回若山牧水賞受賞）『草鞋』『漆桶』（第56回追空賞受賞）著書に『山崎方代のうた』『鎌倉山中小庵日記』『鎌倉花和尚独語』。湯川彰敏氏（日本写真家協会会員）との共著に写真集『方代さん』『酒酒酒泪』、フォトエッセイ『大下一真 方代さんの歌をたずねて』など。鎌倉市瑞泉寺住職。

7. 短歌大会

日時 令和8年11月12日(木) 午後1時30分～午後4時(受付1時より)
会場 山梨県防災新館1階 生涯学習推進センター 交流室 A.B
甲府市丸の内一丁目6-1 (☎055-223-1797)

8. 問い合わせ先

山梨県文化協会連合会 短歌大会実行委員会

◎齊藤 功文 ☎0551-38-2124 Fax 0551-38-2124

◎宮澤 弘美 ☎0551-25-3751 Fax 0551-25-3751

◎舟久保 俊子 ☎0555-22-9006 Fax 0555-22-9006

山梨県文化協会連合会事務局

〒400-8501 甲府市丸の内一丁目6-1

山梨県観光文化・スポーツ部 文化振興・文化財課内

☎055-223-1797 Fax 055-223-1793

主催 山梨県文化協会連合会
後援 山梨県・山梨県教育委員会・山梨日日新聞社
NHK甲府放送局・山梨放送・テレビ山梨
読売新聞甲府支局・朝日新聞甲府総局
第25回やまなし県民文化祭協賛事業

山梨県文協連短歌大会・投稿原稿の書き方

若山	住所	電話	白鳥	白鳥	つあ	つあ	けふ	けふ	い	い	わ	わ
ヤマボクスイ	〒400-8801	〇五五―一二二	しらとり	しらとり	くが	くが	もまた	もまた	つ	つ	れる	れる
水	甲府市丸の内一丁目六一	三―一三二二	は	は	れて	れて	ここ	ここ	あ	あ	る	る
年	〇		哀	哀	て	て	ころ	ころ	く	く	枯	枯
齡	〇		し	し	行	行	の	の	き	き	草	草
〇			か	か	く	く	鉦	鉦	こ	こ	の	の
歳			ら	ら			を	を	し	し	の	の
職			ず	ず			う	う	犬	犬	の	の
業			た	た			ち	ち	の	の	わ	わ
〇			だ	だ			鳴	鳴	わ	わ	が	が
〇			よ	よ			し	し	が	が	そ	そ
〇			ふ	ふ			う	う	ば	ば	ば	ば
							ち	ち	に	に	に	に
							鳴	鳴	添	添	添	添
							し	し	ひ	ひ	ひ	ひ
							つ	つ	て	て	て	て
									す	す	す	す

※注1 左右は必ず同じ歌にしてください。
 注2 一字空けの箇所ははっきりと指定してください。(一字空けをしない場合は続けて書いてください)
 注3 不要なルビは振らない。(難読漢字・固有名詞・読み間違えを避けたい語または本来の読みと異なる語などで必要な場合に振ってください)